



山形県企業
スポーツ振興協議会

CSP+

VOL.29 » AUGUST 2023

**YAMAGATA PREF.
COMPANY SPORTS
PROMOTION CONFERENCE**



The Power of Sports

ごあいさつ



山形県企業スポーツ振興協議会
会長 佐藤英司
(株式会社山形銀行 取締役頭取)

日頃より当協議会へご支援をいただいている多くのみなさまに対し、厚く御礼を申し上げます。

このたび、山形県企業スポーツ振興協議会の会長に就任いたしました佐藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年度は会員企業の株式会社プレステージ・インターナショナルの女子バレーボールチームであるアランマーレ山形が、創部初となるV2優勝、その後の入れ替え戦にも勝利し、来シーズンからのV1昇格を決めました。

また、山形銀行女子バスケットボール部ライヤーズが、全日本社会人バスケットボールチャンピオンシップにおいて優勝、陸上競技においては、エヌ・デーソフトウェア株式会社の青野朱選手が、日本学生陸上競技対抗選手権大会の200mで大会新記録の結果を残し優勝するなど、会員企業における活躍が山形県を盛り上げ、県民に元気を与えてくれたところです。

会員企業と所属選手・チームが連携し、継続的に競技活動に取り組んでいただくことで、国民体育大会や各種大会における本県選手の一層の活躍につながっていくものと期待しております。

当協議会としましても、会員企業のみならず、まともにもスポーツ活動の輪を広げ、本県スポーツ界の更なる活性化および発展に努めてまいります。今後とも、より一層のご支援とご協力をお願い申しあげ、挨拶とさせていただきます。

2023シーズンスローガン

YAMAGATA ICHIGAN「ブッチギリ」



(C)MONTEDIO YAMAGATA

株式会社モンテディオ山形

(2022シーズン) 日本プロサッカーリーグ・J2/6位

「目指せ、B1昇格！」



(C)Paslab Inc.

株式会社パ斯拉ボ 山形ワイヴァンズ

(2022-23シーズン) B2リーグ東地区/6位

輝く明日に向かって

山形県企業スポーツ振興協議会では、会員企業などに所属する競技選手・チームにレベルアップのための活動費を助成しています。その皆さんの活動報告を紹介します。

Athletics

エヌ・デーソフトウェア株式会社

NDソフト アスリートクラブ

＜陸上競技・駅伝＞



令和4年度、2年ぶりのニューイヤー駅伝出場を目指した東日本実業団駅伝は16位となり、ニューイヤー駅伝の出場は叶いませんでしたが、チームのエースである竹内竜真選手が2月に行われた大阪マラソンで2時間08分57秒のタイムを出し、存在感を示すことが出来ました。またCSR活動の一環として、南陽市内の小中学生を対象にした、走り方教室を開催し、動き作りや走り方の指導を行いました。教室の中では蔵王アスリートヴィレッジのトラックやクロスカントリーコースを利用し、学校や地域の環境だけでは感じることでできない体験をしていただきました。

そして、この4月からはこれまで選手として活躍してきた渡邊清紘が監督に、コーチには創部当時のメンバーでもある鈴木駿が就任しました。今年は新たな指導体制でニューイヤー駅伝出場と、個々の目標に向かって日々練習に励んでおります。

私たちの活動を通して、山形県の皆様が陸上競技への関心を持つきっかけになり、競技者の記録向上に繋がるように、引き続き普及活動に力を入れていく所存です。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。



エヌ・デーソフトウェア株式会社

勝見佳奈選手 今野華瑠香選手

<ホッケー>

【勝見佳奈 選手】

コロナ禍も少しずつではありますが緩和され始め、各種大会も予定通り開催された事は、我々選手にとっては、当たり前の事がとてもありがたく感じた1年でした。

人員確保という課題も乗り越えつつ、毎回の練習にも力を注ぎ、活動をしてまいりました。

そして、迎えた本選出場を兼ねた、社会人リーグ戦・東北総体では、宿敵岩手と対戦するも、高い壁は超えることはできませんでした。個人としても課題が残る大会とはなりましたが、反面、若いメンバーにおける、活躍というものは、今後のチームにとって、更なる可能性を期待する大きな収穫となりました。

私たちチーム構成は、ベテラン選手と、若手選手が融合した、歴史のあるチームです。

2023年度も「全国大会出場」を目標に掲げ、社会人らしく、そして地元へ貢献できるようトレーニングに精進していきたいと思えます。

今後とも、ご声援くださいますよう何卒よろしくお願いたします。

【今野華瑠香 選手】

昨年度におきましても活動を支援いただきありがとうございました。コロナ禍の活動も2年目となり、県外からのチームを招いての練習試合が出来たり、学生たちの試合も一部有観客が許可されたりと本当に少しずつではありますが今までの形に戻りつつある状況で非常に嬉しく思っております。

昨年は目標としておりました全国社会人大会への出場が決定し、栃木県で開催される9月の大会へとチーム全体で士気を高め練習に励んでおりましたが、コロナ感染状況の悪化から止む無く大会自体が中止となり、やり場のない悔しさでいっぱいになりました。

国体予選も中止になり、一時目標を見失いそうになりましたが、周りで応援してくださっている方々に支えられ 気持ちを切り替えまた練習に励むことが出来ました。私たちの活動は本当にたくさんの方々に支えられ継続できているのだと改めて実感したとともに、気持ちを新たに今年の大会の無事開催を祈りながらも日々の練習に励んでいきたいと思えます。

引き続き応援の程 宜しくお願致します。



株式会社置環

スキー部 <スキー>

令和4年度の目標も引き続き「国体優勝・入賞」を掲げ活動をしてきました。

選手構成はいずれも男子で、アルペン2名(佐藤慎太郎、三上大我)、ジャンプ2名(齋藤康哲、島貫寛基)の4名で取り組みました。

国体では成年Aジャイアントスラロームで佐藤慎太郎が8位入賞の成績を収めることができました。スペシャルジャンプ成年Aに出場した島貫寛基は21位と、惜しくも年度目標には届きませんでした。

今季もヨーロッパを中心に活動した佐藤慎太郎はFISレースで2勝して結果を残し、また、三上大我も同じくFISレースで2勝し、こちらも結果を残しました。

今季は地元山形県で冬季国体が開催されますので、目標を達成することができるように努力し、怪我をせず1年間活動できる強い選手となるようトレーニングに励みます。

また、地域貢献の一環として地元高校スキー部のアルペン競技の指導を継続して行っており、今季はインターハイ入賞及び国体3位の結果を残すことができました。

最後にはなりますが、皆さまからの温かいご声援とご支援を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。



©WATANABE Shin



株式会社きらやか銀行

<ラグビー> 高橋宗成選手

2022年度山形県成年男子ラグビーフットボールチームは「東北総体5連覇」「とちぎ国体決勝トーナメント進出」を目標に掲げて活動して参りました。

今年もコロナ禍の影響により、関東遠征等によるチーム力向上を図ることができず、各人のトレーニングと県内での練習が主の強化となりました。

山形大学との合同練習、山形市内高校生との練習会等、学生の強化も含めた活動を行って参りました。

対外試合として、7月16日～17日までに行われた「第10回東北セブンス大会in八幡平フェスタ」に山形県選抜として参加し、東北各県と試合を行うことができました。山形県出身のリーグワン所属のメンバーも合流、様々なメンバーで試合を行い、チームの戦術等を確認する良い機会となりました。

東北総体については、チーム事情により辞退せざるを得ない状況となり無念の不参加となりました。来年の「かごしま国体」に向け、心新たにチーム一丸で頑張ります。

Baseball

株式会社きらやか銀行

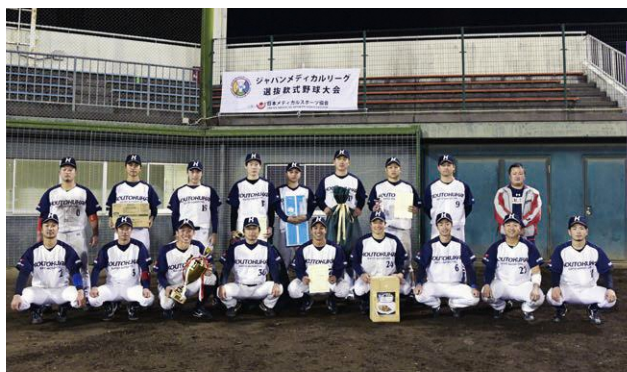
硬式野球部 <硬式野球>



2022年度は「志と覚悟」をスローガンに新人4名を加え始動し、4月末のJABA選抜新潟大会では初優勝することができました。このまま弾みをつけて都市対抗野球大会本戦出場を目指しましたが二次予選敗退となりました。また、当部の無期限休部が伝えられた中、社会人野球日本選手権最終予選では選手たちが最後の一球まで全員野球で戦い抜くことができました。

きらやか銀行硬式野球部は、70年の歴史に一旦幕を下ろすこととなりました。これまでクラブチーム化も経験し、不遇の時期も経験しましたが、多方面からご尽力いただき、社会人野球の最高峰・都市対抗野球大会本戦に3度も出場できるまで成長することができました。これもひとえに当部に関わっていただいた皆様のご協力・ご助力の賜物と思っております。これまできらやか銀行硬式野球部に関わっていただいたすべての方々に感謝申し上げます。

企業スポーツに関わり、良さも難しさも知ることができましたが、プレッシャーや不安の中で一番励みになったのは皆様からの温かい応援です。「頑張れ」の一言で覚悟と勇気が持てました。これまで応援、ご愛顧をいただいたすべての方々に感謝し、最後の言葉とさせていただきます。「70年以上に渡る応援、誠にありがとうございました。」



Baseball

社会医療法人公徳会 佐藤病院

<軟式野球> 軟式野球部

日頃より当野球部の活動に対して、ご理解とご協力を頂いたすべての皆様に深く感謝申し上げます。

令和4年度シーズンは、新型コロナウイルス感染症による活動制限が徐々に緩和され、例年に近い活動を実施することができ

ました。その中で、山形県予選会では大会10連覇を達成し、山形の軟式野球界に新たな記録を残すことができました。10連覇を達成するにあたり、何度も苦しい戦いはありましたが、勝利への執念と日頃の感謝を胸に戦って参りました。今後も連覇を目指し精進して参ります。

また、令和4年度より医療関係者が集い、医療界の日本一を決める第1回ジャパンメディカルリーグが開催されました。準決勝・決勝で全国大会常連チームとの接戦を制し、初代優勝チームとして公徳会佐藤病院の名前を残すことができました。

活動ができなかったもどかしさを払拭し、大きく飛躍することができた1年間でした。応援ありがとうございました。

齋藤農機製作所

剣道部 <剣道>



今年も新型コロナの影響で5月酒田市体育大会中止、9月TDK杯が中止になりましたが、7月国体県予選、山形県剣道大会、9月全日本実業団大会、10月東北実業団大会は無観客で大会がありました。県外の大会は新型コロナの影響もあり今年も自粛しましたが、そのほかの大会については限られた練習の中、個人戦、団体戦ともに出来る限りの力は出せたと思います。

練習の方では昨年同様コロナ対策として面マスク、フェイスマスクを活用し、アルコール消毒、換気を行い少人数で外部と交流をしない、また短時間という条件の中、基本を中心に体力維持を心がけて活動を行いました。

少しずつ大会、講習会が多くなってきていますがコロナ対策をしっかりと活動を行なっていきたいと思います。



Basketball

渋谷建設株式会社

畑 伸英選手 ケイタ・シエイク選手
 和田保彦選手 永田晃司選手
 金子遼太選手
 <バスケットボール> (山形クベラ所属)

今年度は東北地域リーグ戦2位、東北総合体育大会2位通過で本国体出場権獲得、とちぎ国体ベスト16、全日本社会人バスケットボール地域リーグチャンピオンシップ5位と例年に比べ結果が伴ったシーズンでありました。

成年男子バスケットボール競技において本国体出場が久々であり、山形県スポーツに貢献できた嬉しさがありました。結果は惜敗してしまいましたが、今後につながる大きな一歩を踏み出せたと思っております。今後も本国体出場を継続し、本国体でより良い成績を残せるよう努力を重ねていきたいと思います。

全日本社会人バスケットボール地域リーグチャンピオンシップは過去最高の5位と非常に満足のいく結果となりました。簡単な試合は1つもなく全て接戦でしたが勝ち切れたこと、毎年積み上げてきた努力が実を結んでくれたこと、たくさんのご支援やご声援があつたことと思っております。来年度はこの成績をより上回れるよう精進していきたいと思います。

皆様のご期待に沿えるよう地域リーグも国体も山形県のバスケットボールのために、子供たちのいい見本となるように引き続き頑張りたいと思います。

Speed Skate

株式会社高見旅館

ウィリアムソン師円選手 <スピードスケート>



今年から拠点山形に移しタカミヤホテルグループのサポートのもと、今までとは全く違う視点でスピードスケートと向き合うシーズンになりました。自分がオリンピックでメダルを獲るためにどうすれば0.1秒でも速く滑ることができるか必死に考え、自分だけがそれを理解していればそれでよかったのが今までの競技生活でした。

そこから高校生の指導に携わらせていただくことで、スピードスケートというものを客観的に見ることが求められ自分が指導する選手に対して相手が理解できるまでアドバイスを噛み砕くという作業に苦戦しました。氷上での感覚が大きく結果に響く競技なので自分がここまでタイムを縮めてきたメカニズムなどを具現化して言葉で伝える、そしてそれをどう感じたか選手にフィードバックしてもらうことで今まで自分の頭の中にぼんやりしていたものが明確になり自分のスキルアップにもつながりました。

仕事とスケートの両立は自分自身初めての経験でしたが、今までにはなかった新しい刺激が国体5位という結果につながったかと思っております。来シーズンもこの探求は続けたいと思います。

Badminton

株式会社でん六

男子バドミントン部

<バドミントン>

4月に行われた、東北実業団選手権大会、準決勝まで順当に勝ちあがりましたが、北都銀行戦の第1、第2ダブルスをともにファイナルゲームで落とし、そのままシングルも落とした結果0-3と敗れてしまい、前回大会の雪辱を果たされた形になりました。

6月に行われた全日本実業団選手権大会は3年連続決勝トーナメント進出中でしたが、予選ブロックで敗れ大変悔

しい思いをしました。

また、2月に行われたS/Jリーグ3(二部)では、予選ブロックを一位通過して昇格決定戦へ進みましたが、あと一步のところまで敗れ、一つ上のカテゴリーへ昇格することができず、令和4年度は悔しさが残る一年となりました。

今後はもっとダブルスを特に強化し、あと一步及ばなかったところに来年度は行けるよう、取り組んでまいります。



Volleyball

株式会社プレステージ・インターナショナル

アランマーレ <バレーボール>

いつもアランマーレ山形を応援いただきありがとうございます。

8シーズン目となる本シーズン、開幕から苦しみながらも勝ち切り、試合を重ねるごとにチーム力が上がり、2023-24 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN(V1女子)への昇格を果たしました。

昨シーズンはコロナに負けてしまったが、今シーズンは体調管理にも更に力を入れ、最後まで好調を維持することができました。

今秋から迎える新シーズンではV1女子という新しい舞台に活躍の場が移りますが、チームコンセプト「地域の皆様に愛され、共に成長するチーム」「女性が活躍できる場を増やし、女性応援のシンボルとなるチーム」を変わずに体现しながら、今後も活動してまいります。



Basketball

株式会社山形銀行

<バスケットボール> ライヤーズ

令和4年度は、『繋～one for all～』をスローガンに掲げ、全国大会優勝に向け練習に取り組んできました。国民体育大会では準決勝敗退(3位)という悔しい結果となりましたが、3月に開催された全日本社会人バスケットボールチャンピオンシップでは、練習の成果を発揮し、目標としていた全国大会

優勝を成し遂げることができました。

今シーズンは、2名の新人選手を迎え、合計12名での活動となります。山形県企業スポーツの発展に貢献できるよう、より一層チーム力の強化を図り、国民体育大会とチャンピオンシップの2冠を目指し、努力してまいります。

たくさんの方々に支えられ、日頃練習や活動ができていることに感謝し、今シーズンも結果で恩返しができるよう精進いたします。

株式会社山形銀行

五十嵐紫乃選手 <アルペンスキー>

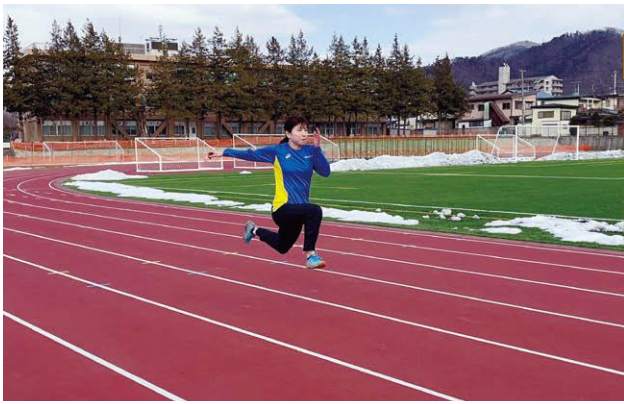
令和4年度は、国民体育大会冬季大会スキー競技会第6位、全日本スキー選手権(スーパー大回転)第3位、山形県スキー選手権大会優勝という成績を収めることが出来ました。

上司・先輩方のご理解・ご協力があり、学生時代から環境が一変した中でも、上記の結果を残すことができました。競技に取り組む中で、多くの方々に支えていただいていることを改めて実感し、より一層恩返しをしたい気持ちが高まったシーズンとなりました。

令和5年度は、地元山形で開催される国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会で優勝することを目標に掲げています。競技人生の集大成となる当大会で優勝し、支えていただいた方々に結果で恩返しをしたいと思います。また、一社会人として、競技への取り組みを通して山形県のスポーツ活性化に貢献できるよう精進してまいります。



Athletics



山形パナソニック株式会社

<陸上競技> 黒澤かおり選手

令和4年度は無観客から有観客での大会開催が増え、コロナ前の雰囲気に戻ってきています。以前まで当たり前だったその環境が、とても幸せなことであると改めて気づくことができました。

全日本実業団対抗陸上競技選手権大会にて4位に入賞(三段跳)と、社会人となって初めて全国の大会で入賞することができ、とても嬉しく、これまでお世話になった方々へ少しですが、恩返しできたのかなと思います。また、いちご一会とちぎ国体に成年女子走幅跳で出場させていただきました。目標としている記録や結果を出すことができていませんが、こうして競技を続けられていることに感謝し、山形県企業スポーツに少しでも貢献できるよう、努力を重ねていきます。

Archery

株式会社ヤマザワ

石川竜也選手 <アーチェリー>

株式会社ヤマザワを代表としてアーチェリーに取り組ませていただきました。この1年間はオリンピック出場を目指し競技に取り組みました。パリオリンピックに出場するためには今年の日本代表選考会を突破しなければならず毎年11月に開かれる選考会を目標としておりました。

そんな私の前に立ちはだかったのが「環境の変化」という壁です。指導者や練習環境が変わり、無理なフォーム変更にも取り組んだ結果、イップスの症状が現れてしまいました。一時は練習になると体の力が全く入らないほどでした。しかし、私はそこでマイナス思考に陥ることなく「まずは地道な一步一步を積み重ねていこう」という気持ちで日々の練習に地道にとり組みました。次第に症状は治まっていき本番には何とか間に合わせることが出来ました。結果としては日本代表選考会を突破することは出来ませんでした。どん底の状態から日本のトップレベルで勝負が出来るまで状態を戻すことが出来たことに達成感を感じました。

オリンピック出場の夢は途絶えてしまったもののこの悔しさを糧に、今後もレベルアップを目指し精進していく所存です。



令和5年度山形県企業スポーツ振興協議会 会員企業一覧

- | | | |
|-------------------|------------------------------------|-----------------------------|
| ① アイジー工業株式会社 | ⑮ 株式会社高見屋旅館 | ⑳ 株式会社モンテディオ山形 |
| ② エヌ・デーソフトウェア株式会社 | ⑯ 株式会社ダイバーシティメディア | ㉑ 株式会社山形銀行 |
| ③ 遠藤商事株式会社 | ⑰ 鶴岡信用金庫 | ㉒ 公益社団法人
山形県スポーツ振興21世紀協会 |
| ④ 株式会社置環 | ⑱ 株式会社テレビユー山形 | ㉓ 山形県スポーツ用品
小売商業協同組合 |
| ⑤ 株式会社カスカワスポーツ | ⑲ 株式会社でん六 | ㉔ 山形建設株式会社 |
| ⑥ 加藤総業株式会社 | ⑳ 東北電力株式会社 | ㉕ 株式会社山形新聞社 |
| ⑦ 株式会社かわでん | ㉑ 日東ベスト株式会社 | ㉖ 山形信用金庫 |
| ⑧ 株式会社きらやか銀行 | ㉒ 日本地下水開発株式会社 | ㉗ 株式会社山形テレビ |
| ⑨ 社会医療法人公徳会 | ㉓ 株式会社パ斯拉ボ | ㉘ 山形パナソニック株式会社 |
| ⑩ 株式会社斎藤農機製作所 | ㉔ 株式会社プレステージ・インターナショナル
山形BPOパーク | ㉙ 山形放送株式会社 |
| ⑪ 株式会社さくらんぼテレビジョン | ㉕ 前田製管株式会社 | ㉚ 株式会社山形ミートランド |
| ⑫ 渋谷建設株式会社 | ㉖ 升川建設株式会社 | ㉛ 株式会社ヤマザワ |
| ⑬ 株式会社荘内銀行 | ㉗ 株式会社丸定 | ㉜ ヤマリョー株式会社 |
| ⑭ スズキハイテック株式会社 | ㉘ 株式会社メコム | |

(五十音順)

会員企業を募集しております

～県内企業でスポーツを頑張っている選手・チームを応援しませんか～

協議会
概要

山形県企業スポーツ振興協議会は、
 ①企業スポーツ活動の支援
 ②本県競技スポーツ界の活性化と競技レベルの向上
 ③優秀スポーツ選手の人材確保
 を活動目的に、平成6年8月に設立されました。

歴代
会長

初代 丹羽厚悦 氏
 2代 山田昭一 氏
 3代 長谷川吉茂 氏
 (現会長)
 4代 佐藤英司 氏

具体的
活動内容

・会員企業の選手に対する競技力向上のための活動助成
 ・国民体育大会等、各種競技大会参加への協力
 ・研修会、講習会の開催 など

年会費

20,000円